

「令和8年度全国学力・学習状況調査」結果について

1 実施概要について

- (1) 調査の目的
- ①児童生徒の学力・学習状況の把握・分析と教育施策の検証・改善
 - ②児童生徒への学習指導の充実と学習状況の改善に活用
 - ③教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立
- (2) 調査の対象及び内容 【令和8年4月20日（月）～5月29日（金）実施】
- ①各小学校6年生及び各中学校3年生の全児童生徒が対象
 - ②調査内容
 - ア. 国語、算数・数学、英語（中学校のみ）の学力調査
 - イ. 児童・生徒の学習状況等に関わる質問紙調査
 - ウ. 学校に対する質問紙調査
- (3) R7調査との主な変更点
- ・中学校・英語（4技能「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）の全面CBT（Computer Based Testing）化。※「話すこと」調査のみ令和5年度もCBTで実施
- (4) 実施の状況（公立の実施学校数と児童生徒数）
- ①全国の状況
- 小学校等 18,077校
 - ・国語： 922,411名
 - ・算数： 922,778名
 - 中学校等 9,146校
 - ・国語： 841,873名
 - ・数学： 842,491名
 - ・英語： 839,203名
- ②本県の状況
- 小学校等 220校（小学校213校、義務教育学校前期課程3校、特別支援学校小学部4校）
 - ・国語： 7,172名
 - ・算数： 7,164名
 - 中学校等 95校（中学校89校、義務教育学校後期課程3校、特別支援学校中学部3校）
 - ・国語： 7,480名
 - ・数学： 7,480名
 - ・英語： 7,464名

2 学力調査の結果（本県における各教科の平均正答率）

(1) 小学校6年生 ※数値は正答率％（都道府県は整数値で公表）

	山形県	全 国
国 語	58	60.9
算 数	53	56.4

(2) 中学校3年生 ※数値は正答率％（都道府県は整数値で公表）

	山形県	全 国
国 語	63	63.9
数 学	54	57.0
英 語	476*	499*

【IRT（項目反応理論）】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

※IRTスコアの数値
（文科省が設定した基準スコア＝500）

3 本県の概要

○は成果、△は課題を示しています。

学力調査について

小学校は国語と算数、中学校は国語、数学及び英語の全ての教科で全国平均を下回りました。昨年度と比較して、小学校は国語、算数ともに全国平均との差が広がりました。中学校は数学において若干の回復傾向が見られたものの、国語は全国平均との差が広がりました。

【国語】

- 話し合いを通して自分の考えを整理したり、自分なりの考えを表現したりすることができています。
- △ 文章や話の内容を正確に捉える力に課題がみられます。
- △ 本文の内容から根拠を読み取り、質問に答える力に課題がみられます。
- △ 資料から必要な情報を的確に読み取り、分かりやすく伝える力に課題がみられます。

【算数・数学】

- 立方体の体積の求め方や累積度数の意味などの基礎的な知識を身に付けています。
- △ 体積や割合、反比例など、数学的な概念の理解と確実な定着に課題がみられます。
- △ 図形や数量の関係を基に、求め方や考え方を説明する力に課題がみられます。
- △ 確率や証明などにおいて、根拠を基に筋道を立てて考える力に課題がみられます。

【英語】

- △ 文章を読んで、書き手の最も伝えたいことを捉える力に課題がみられます。
- △ 与えられたテーマについて、基本的な知識を正しく用いて、自分の考えとその理由、感想等を書くことに課題がみられます。

学習状況調査について

【児童生徒質問紙より】

- 「各教科の勉強が好き・得意」「授業の内容が分かる」など、学習に対する興味・関心や理解の状況は概ね良好です。
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組の状況は概ね良好です。
- △ 「前年度までに受けた授業におけるＩＣＴ機器の活用頻度」など、ＩＣＴを活用した学習機会の充実に課題がみられます。
- △ 昨年度との比較を含め、小・中学校ともに、「授業時間以外での学習時間」など、学習習慣の確立に課題がみられます。

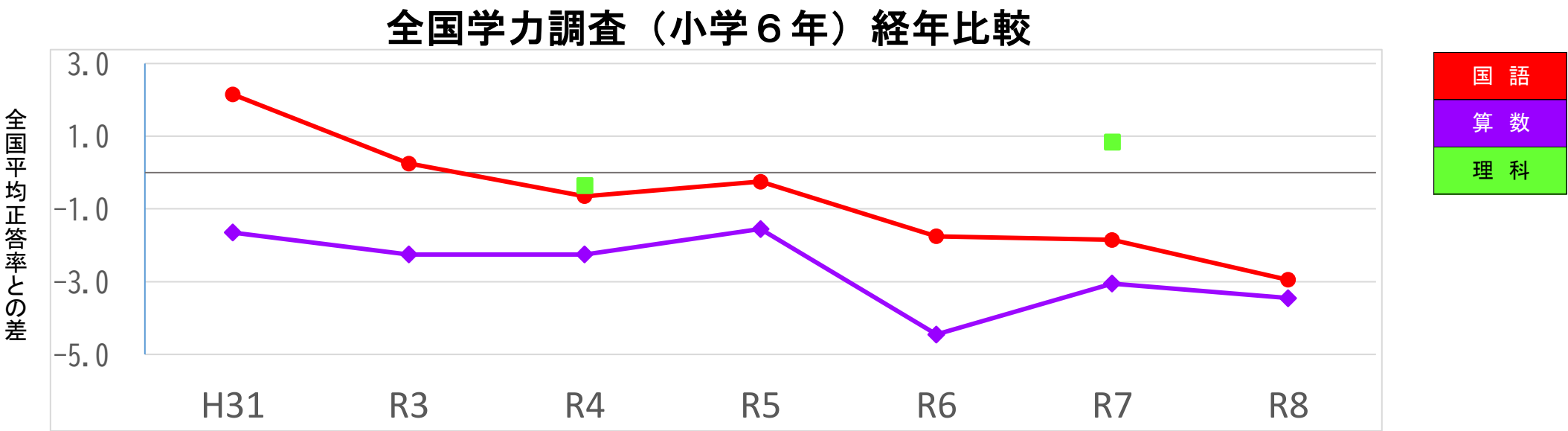
【学校質問紙より】

- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善・工夫への取組状況は概ね良好です。
- △ 小・中学校ともに、ＩＣＴを効果的に活用した学習機会の設定に課題が見られます。

4 県教育委員会のコメント

県教育委員会としましては、全ての教科が全国平均を下回ったことを受け、調査結果を詳細に分析し、課題を明らかにしたうえで、各市町村教育委員会と一体となり、「教員の指導力向上」「学習定着度に基づく授業改善」「家庭学習の充実」に取り組んでまいります。

全国学力学習状況調査結果



※平均正答率について、全国の値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、グラフの値は、全国との差の範囲の中間値を表示しています。

○小学校国語

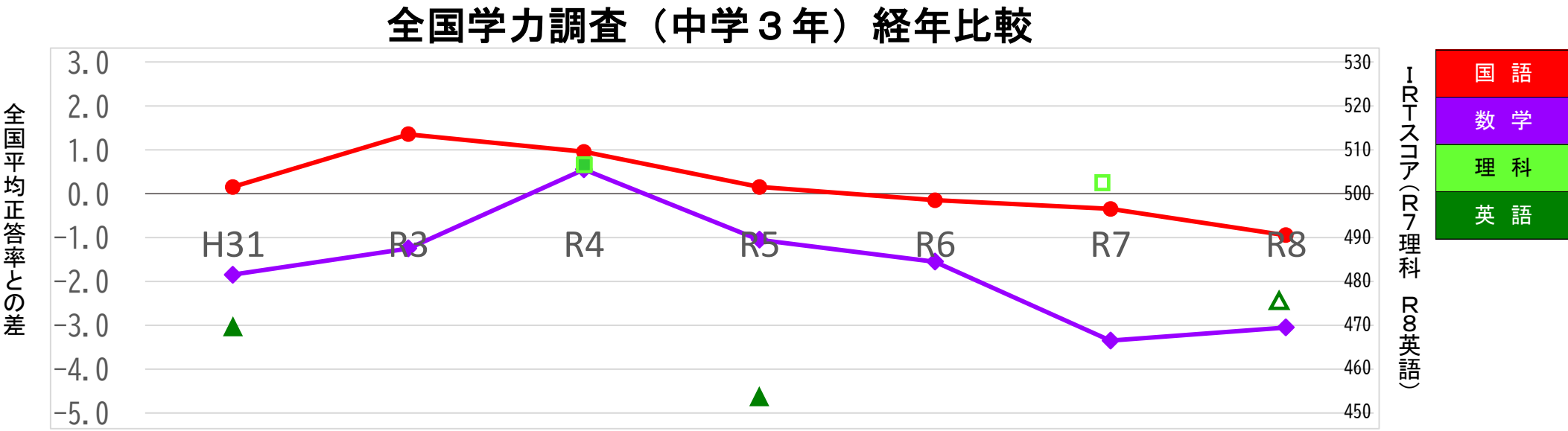
年度	平均正答率	全国との差
平成 31 年度	66	1.7 ~ 2.6
令和 3 年度	65	-0.2 ~ 0.7
令和 4 年度	65	-1.1 ~ -0.2
令和 5 年度	67	-0.7 ~ 0.2
令和 6 年度	66	-2.2 ~ -1.3
令和 7 年度	65	-2.3 ~ -1.4
令和 8 年度	58	-3.4 ~ -2.5

○小学校算数

年度	平均正答率	全国との差
平成 31 年度	65	-2.1 ~ -1.2
令和 3 年度	68	-2.7 ~ -1.8
令和 4 年度	61	-2.7 ~ -1.8
令和 5 年度	61	-2.0 ~ -1.1
令和 6 年度	59	-4.9 ~ -4.0
令和 7 年度	55	-3.5 ~ -2.6
令和 8 年度	53	-3.9 ~ -3.0

○小学校理科

年度	平均正答率	全国との差
令和 4 年度	63	-0.8 ~ 0.1
令和 7 年度	58	0.4 ~ 1.3



※平均正答率について、全国値は小数第1位まで示されているのに対し、都道府県の値は平成29年度から整数値で示されていることから、グラフの値は、全国との差の範囲の中間値を表示しています。

※R7理科に関しては、IRTスコアによる(文科省が設定した基準スコア＝500)数値を表しています。(R7の全国平均IRTスコアは503)

※R8英語(3技能)に関しては、IRTスコアによる(文科省が設定した基準スコア＝500)数値を表しています。(R8の全国平均IRTスコアは499)

※全国平均正答率とIRTスコアは測定方法が異なるため、直接比較することはできません。このため、グラフ上、R7理科、R8英語については色を中抜きした形で表しています。

○中学校国語

年度	平均正答率	全国との差
平成 31 年度	73	-0.3 ~ 0.6
令和 3 年度	66	0.9 ~ 1.8
令和 4 年度	70	0.5 ~ 1.4
令和 5 年度	70	-0.3 ~ 0.6
令和 6 年度	58	-0.6 ~ 0.3
令和 7 年度	54	-0.8 ~ 0.1
令和 8 年度	63	-1.4 ~ -0.5

○中学校数学

年度	平均正答率	全国との差
平成 31 年度	58	-2.3 ~ -1.4
令和 3 年度	56	-1.7 ~ -0.8
令和 4 年度	52	0.1 ~ 1.0
令和 5 年度	50	-1.5 ~ -0.6
令和 6 年度	51	-2.0 ~ -1.1
令和 7 年度	45	-3.8 ~ -2.9
令和 8 年度	54	-3.5 ~ -2.6

○中学校理科

年度	平均正答率	全国との差
令和 4 年度	50	0.2 ~ 1.1
	IRTスコア	全国との差
令和 7 年度	504	1

○中学校英語

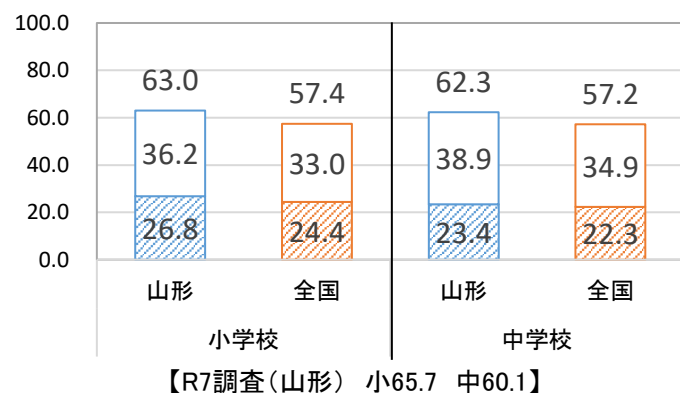
年度	平均正答率	全国との差
平成 31 年度	53	-3.5 ~ -2.6
令和 5 年度	41	-5.1 ~ -4.2
	IRTスコア	全国との差
令和 8 年度	476	-23.0

1 児童生徒質問紙調査から

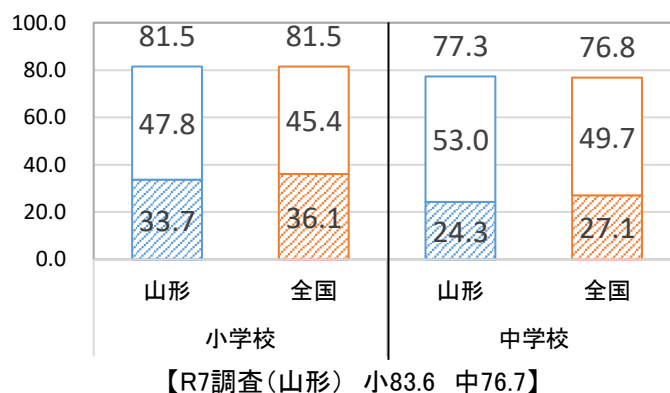
資料2

(1) 教科に関すること

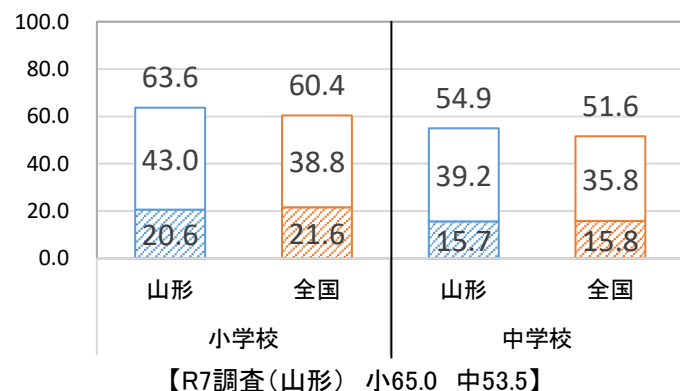
①国語の勉強は好きだ



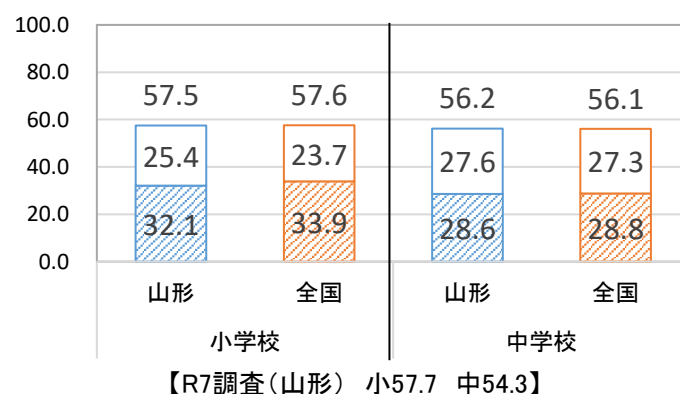
②国語の授業の内容はよく分かる



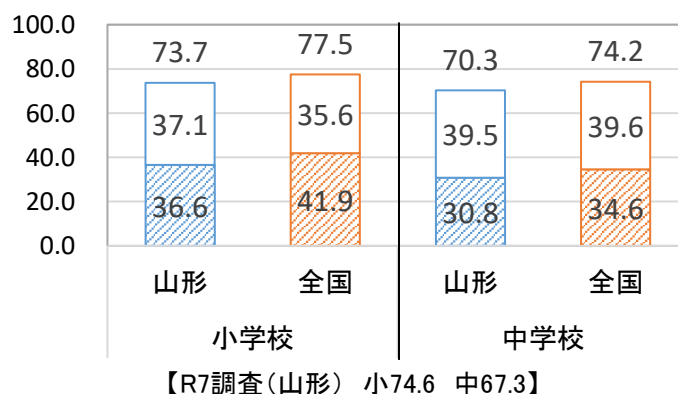
③国語の勉強は得意だ



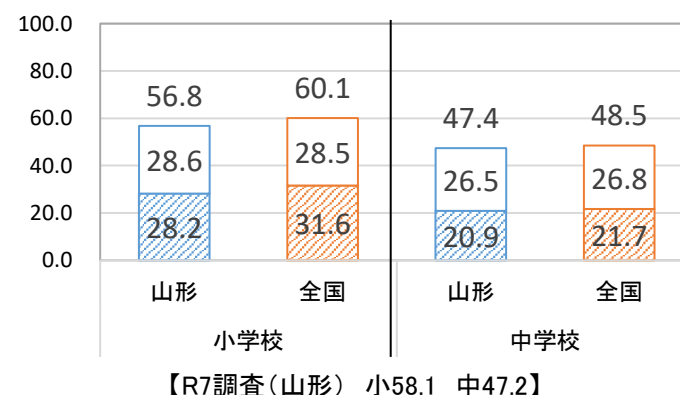
④算数【数学】の勉強は好きだ



⑤算数【数学】の授業の内容はよく分かる



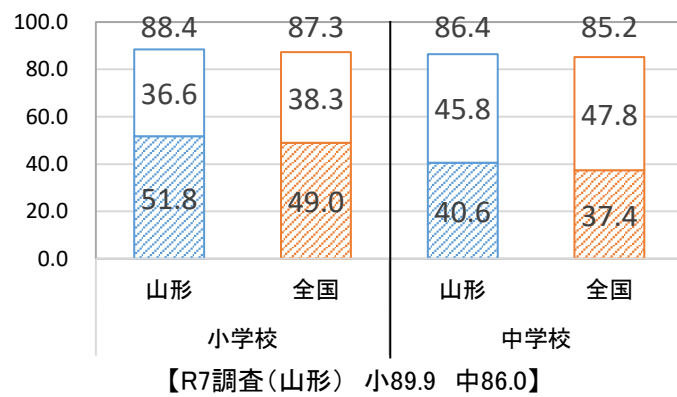
⑥算数【数学】の勉強は得意だ



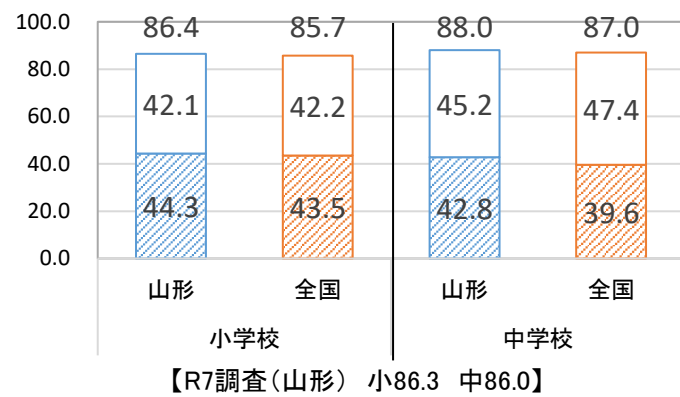
(2) 授業や学習等に関すること

当てはまる
 どちらかと言えば当てはまる

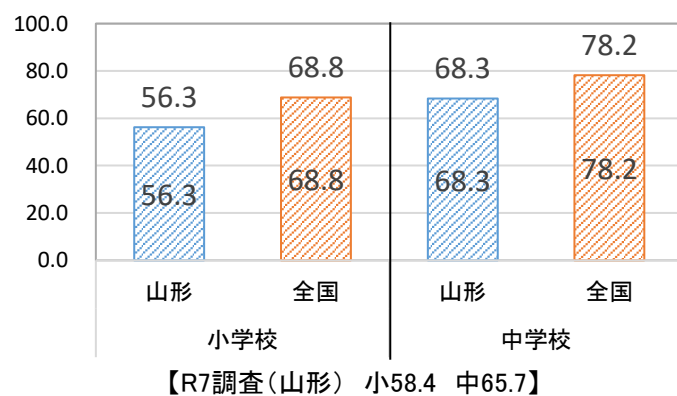
①先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれている



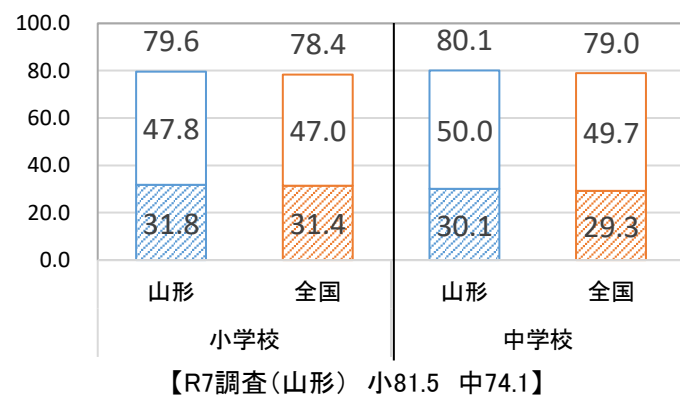
②学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



③5年生までに【1、2年生のときに】受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用している

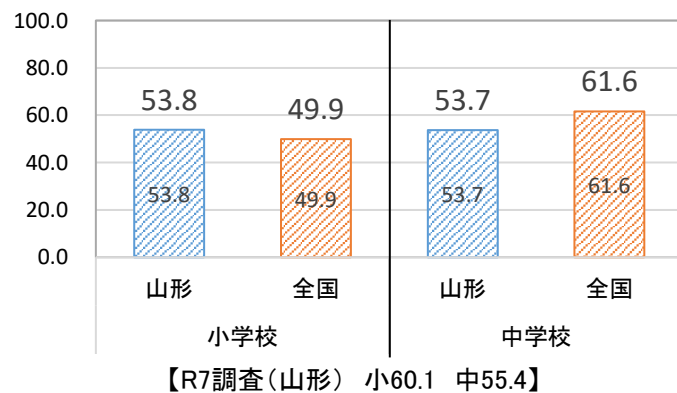


④学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている

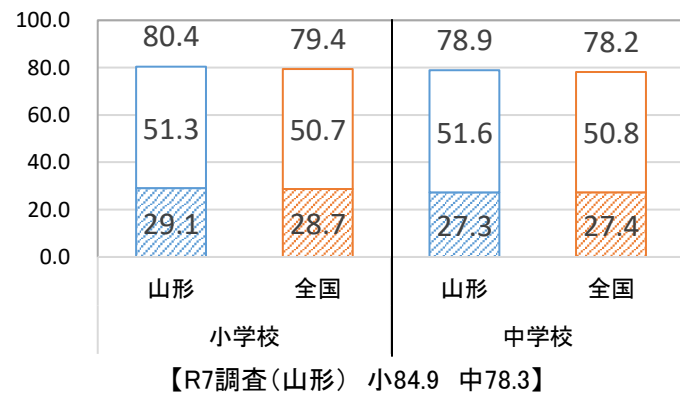


(3) 家庭生活に関わること

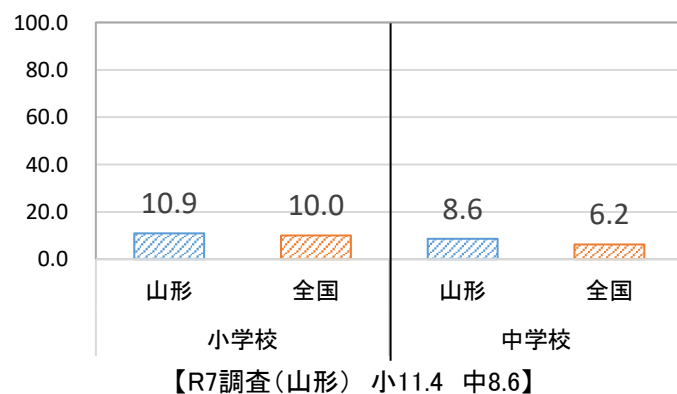
①学校の授業時間以外に平日1時間以上勉強をしている



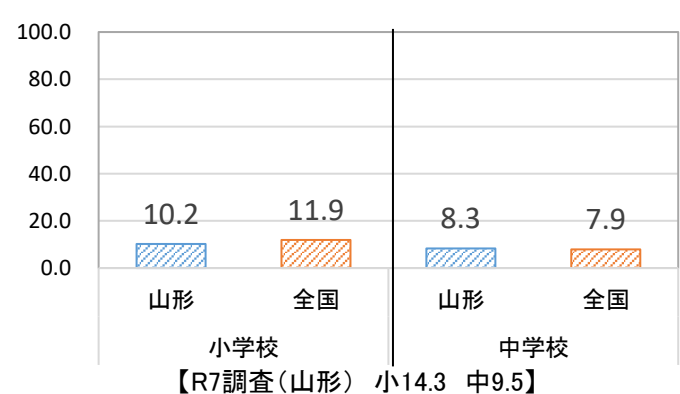
②分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



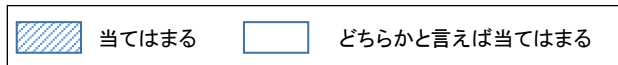
③週1回以上新聞を読んでいる



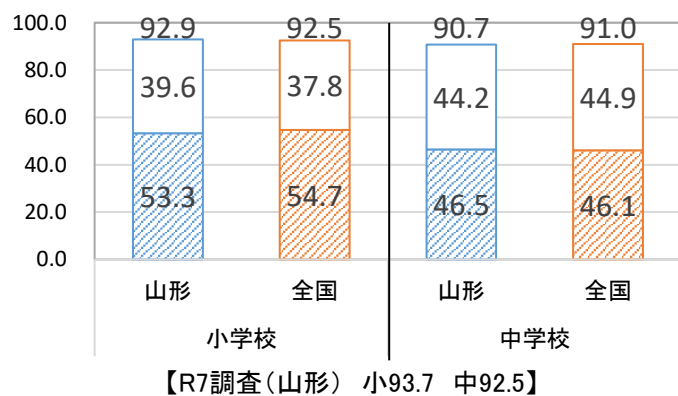
④学校の授業時間以外に1日1時間以上、読書をしている



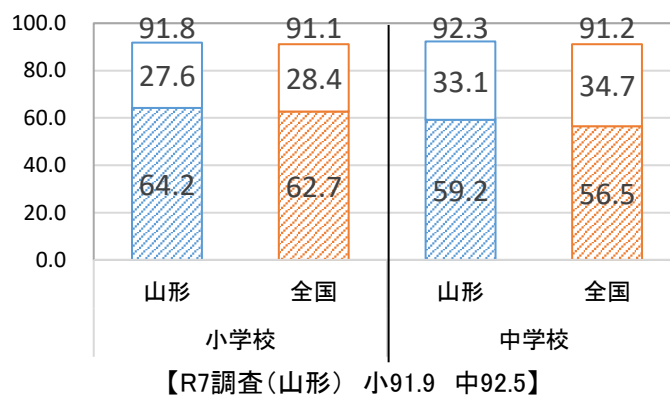
(4) 児童・生徒自身に関わること



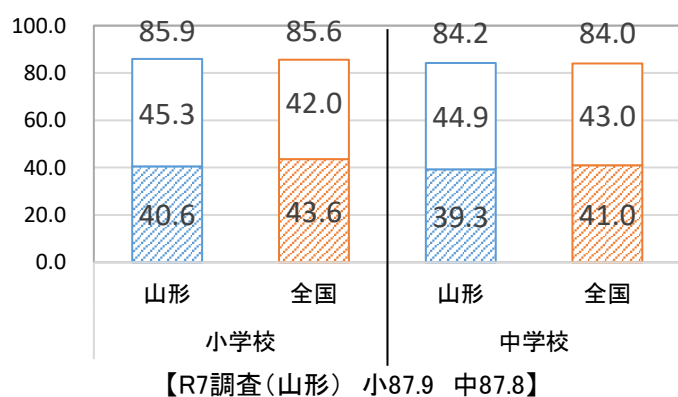
① 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある



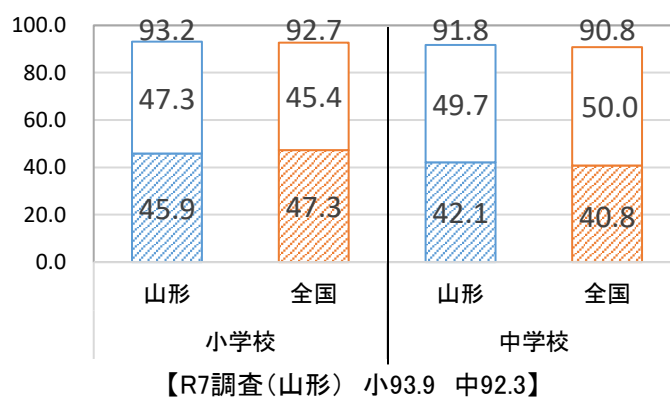
② 友達関係に満足している



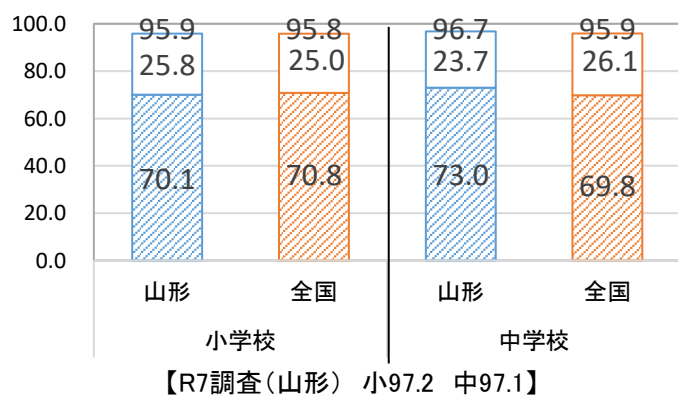
③ 自分には、よいところがあると思う



④ 人が困ってるときは、進んで助けている

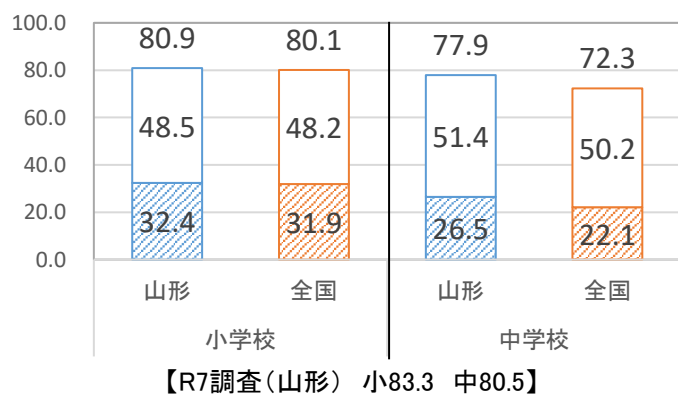


⑤ 人の役に立つ人間になりたい

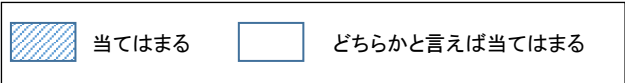


(5) 地域に関わること

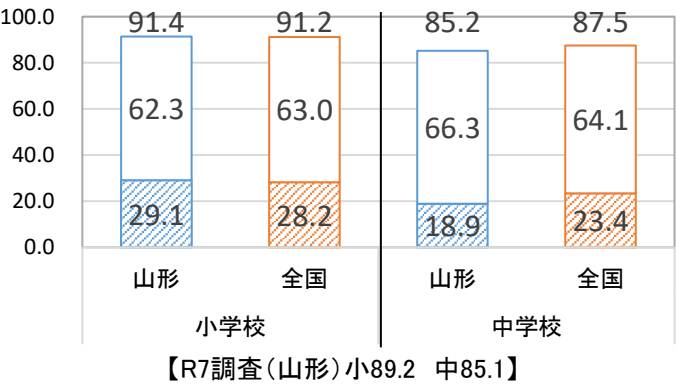
① 地域や社会をよくするために何かしてみたい



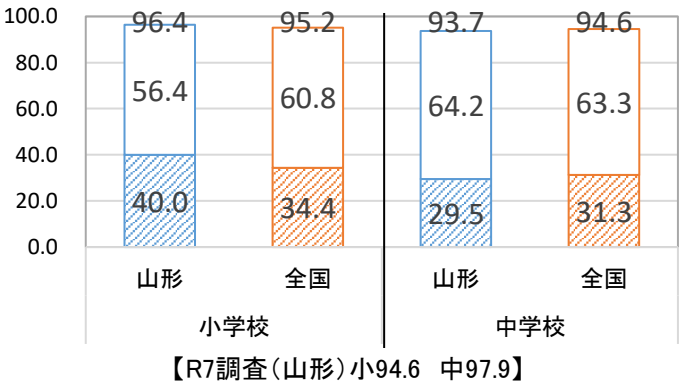
2 学校質問紙調査から



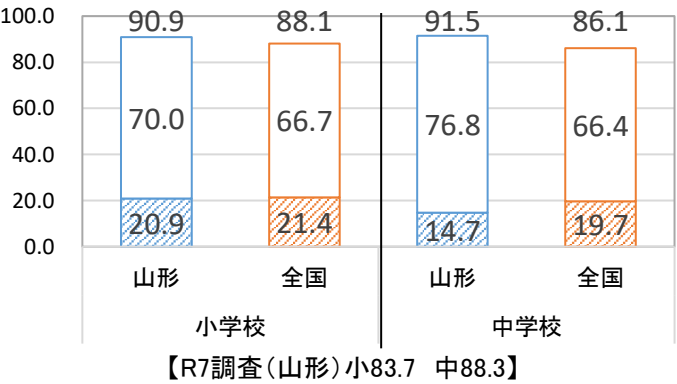
①児童生徒一人一人に応じた学習課題や活動の工夫をしている



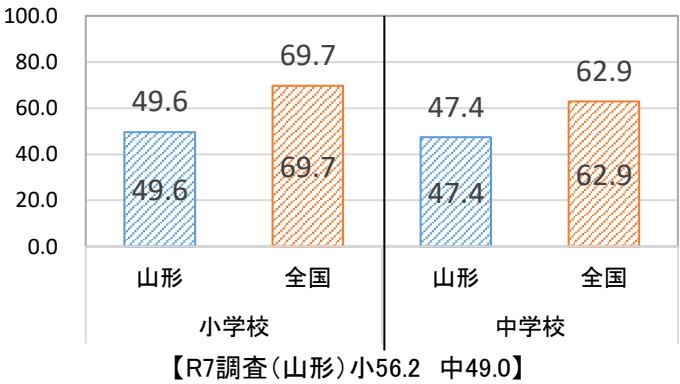
②それぞれのよさを生かしながら、他者と情報を交換して話し合ったり異なる視点から考えたり協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している



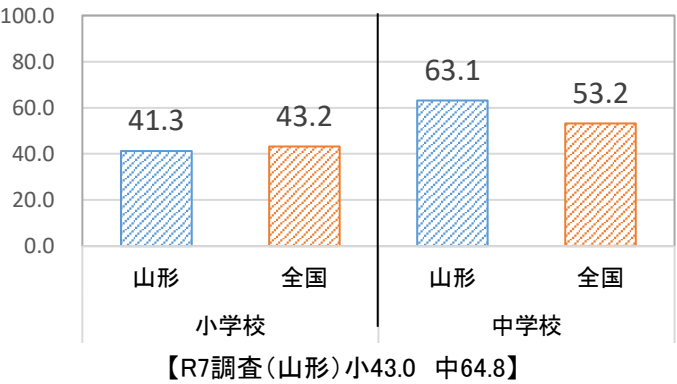
③習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている



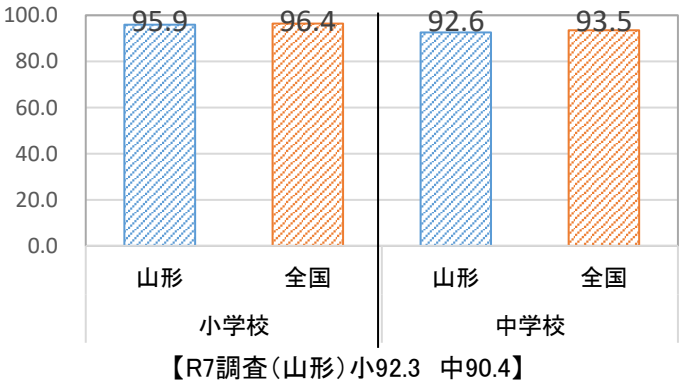
④児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している



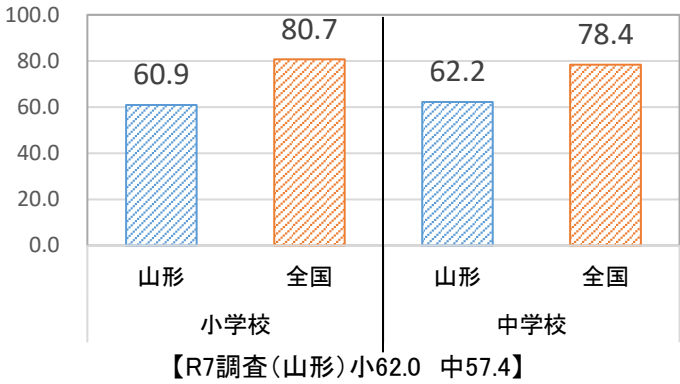
⑤児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、毎日持ち帰っている



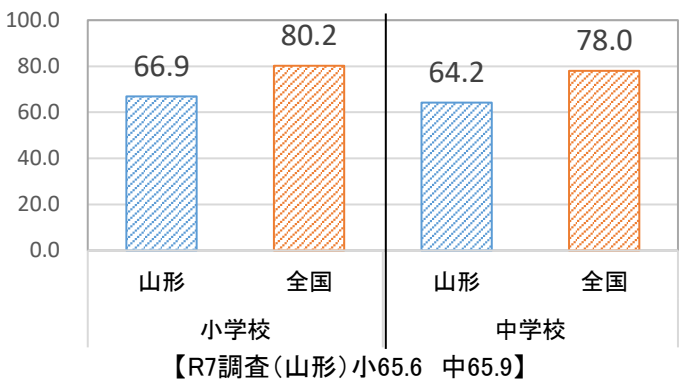
⑥学校で、授業中に自分で調べる場面で、週1回以上PC・タブレットなどのICT機器を使っている(インターネット検索など)



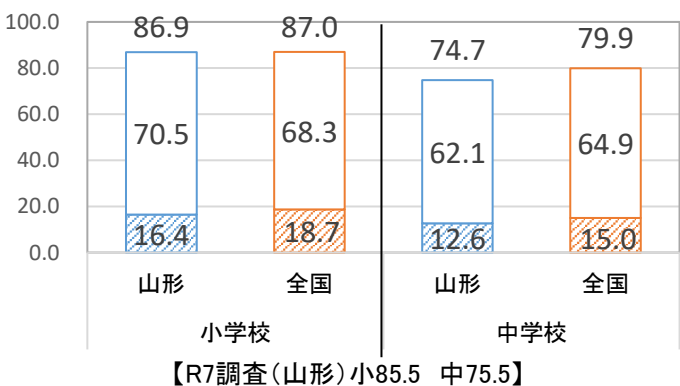
⑦先生と児童生徒がやりとりする場面で、週1回以上P
C・タブレットなどのICT機器を使っている（インターネット
検索など）



⑧学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、週1
回以上PC・タブレットなどのICT機器を使っている



⑨各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に
生かすことができるような機会を設けましたか



⑩全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調
査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を
改善するために活用しましたか

